

ヒアリング評価を通じて得られた特に優れた事例 1

子どもから高齢者の切れ目ない支援を多セクター共創で生み出す事業

【事業費総額 4,138 千円 (WAM助成金 4,085 千円)】



自然体験活動を行っている様子



高齢者見守り事業を行っている様子

団体設立経緯

前身の団体時より地縁組織として、こどもから高齢者の支援に携わり「新しい公共を地域から 誰もが豊かに生きられる地域づくりをめざして」をテーマに平成 24 年に団体を設立しました。

大阪北部高槻富田地区を拠点に、社会的不利を抱える人たちを取りこぼさない社会的包摂のまちづくりを行っています。

事業実施内容

富田地区にある 508 戸の市営住宅の全面建替によりハード面の整備が行われる一方で、ひとり親世帯、生活困窮世帯など多くの社会的課題を抱えた地域であり、ソフト面の構築が不十分な現状がありました。そこで、住民や自治会、大学生といった多様な担い手と協働し、こどもから高齢者まで誰も取りこぼさない支援を生み出すために社会的不利を抱える層への包括支援を行いました。

具体的には、これまでの地縁組織としての経験を踏まえ、自治会・学校・行政等をネットワーク化し、分野を超えて意見やアイデアを共有することで包括支援の仕組みを創り、また、市営住宅の独居高齢者が抱える「孤独・孤立」に対しては、地元老人会と協働し見守り活動等を行いました。そして、その他の活動も含め、全体を通して、自治会といった「地縁型コミュニティ」と福祉の特定の分野への支援を目的とした「テーマ型コミュニティ」とをうまく融合させていき、こどもから高齢者までの多様な層が参加し、様々なつながりが生まれる活動を実践しました。

事業成果

ハブとして、つなぐ役割を果たしながら多セクターとの共創によって包括的な支援の仕組みづくりを行い、延べ 2,955 名に支援を行いました。「こども居場所事業」や「高齢者見守り事業」、「生活応援支援」等を行い、こどもから高齢者までの切れ目のない支援に尽力しました。

「包括支援ネットワーク構築事業」では、自治会等の地縁組織・学校・行政など延べ 75 団体と連携しました。事業の共有によるセクターを超えた連携を生むとともに、各組織が持つ視点の共有を行うといった工夫を行い連携が強化されました。

同事業に対する評価

直接的な支援とネットワークの仕組みづくりに注力し、双方からのアプローチを行っている点に加え、社会の担い手が不足している中、地域ニーズを捉え、住民主体の姿勢で運営することで人材を確保している点を高く評価しています。

今後は、こうした活動内容を分析し、知見を社会へ広く発信していくなど、モデルケースとして、他地域でも社会的インパクトを与え続けられるトップランナーになることを期待しています。

一般社団法人
タウンスペース WAKWAK
(大阪府高槻市)

U R L
<https://ts-wakwak.com/>

